先義後利

2009年度
(社) 鳥取青年会議所
会報誌 11月号

因幡

INNOVA〔ina:va〕
変革

10月25日（日）鳥取JCしいたけの森プロジェクト
『第3弾 森の恵み！もぎたてしいたけ de 収穫祭の巻』

「すべては自分のために」

理事長 水野 由久

10月24日に究極の田舎政策委員会の「IJU IN TOTTORI～選ばれるまち鳥取に向けたフォーラム～」が環境大学にて開催されました。500人収容の会場が、来場者で埋め尽くされました。因幡地域の田舎環境を活かして地域の人々と協働しながら『田舎』と『経済』が好循環するまちにするために、因幡地域への交流人口、移住定住人口の増加を目指した事業です。鳥取JCが旗を振り、産官学民が連携して「どっとり暮らし研究会」を立ち上げ、どうすれば移住定住者が増加し、因幡地域で安心して暮らしていただくことができるのか議論しました。その内容を多くの方々に伝え、問題意識を共有し、今後の活動のきっかけにするためのフォーラムでした。（社）鳥取青年会議所はこれからこのネットワークを様々な方面に広げ、責任をもって具体的なアクションに繋げなければなりません。

翌日の25日には因幡のグリーン政策委員会の「鳥取JCしいたけの森」プロジェクト第3弾『収穫祭』が開催されました。「しいたけ地球環境防衛隊」の紙芝居を見て原木しいたけの育成が森林保全に大きな役割をもっていることを分かりやすく伝えました。原木の伐採を見学した後、春に参加者によって植菌した原木から生えてきたしいたけをもぎ取りました。初めてしいたけのもぎ取りを体験した子ども達もいたことでしょう。炭火で焼いたしいたけは肉厚がありとってもおいしかったです。この事業によって、しいたけの原木育成を通して森林を保全するという因幡地域ならではの環境保全活動が広がり、因幡地域のしいたけ生産の発展に繋がれば、『環境』と『経済』の好循環するまちに近づくのではないでしょうか。

会員拡大も今がラストチャンスです。「まちづくり」という我々の商品と、そこから得られる果実を相手に説明し、共感していただいて入会していただく。会員拡大は鳥取JCの究極の広報活動であり、自分自身の営業のトレーニングそのものでもあります。因幡地域と自分自身の未来のためには通ることはできません。24歳の藤田志穂さんには「大変」は自分自身が「大きく」「変わる」チャンスであると教わりました。JC活動の中で、「大変」な時は沢山ありますが、今の自分にしっかり向き合い、自分自身の成長を信じて前に進みましょう。

2009年度 日本JCスローガン
やさしくあるために、つよくなる
愛に満ち溢れたつよいＪＡＹＣＥＥによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取ＪＣスローガン
～ 未来の笑顔は我が責務なり ～
将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って（社）鳥取青年会議所は活動します。

Tottori JC 50th

【先義後利】せんぎこうり…道義を優先させ、利益を後回しにすること。「義」は人として当然あるべき道の意。「利」は利益のこと。「義を先にして⇒

卒業にあたり

松本 寿一

人は生涯忘れ得ぬ思い出というものをいくつ作ることができるのでしょうか。ＪＣ卒業を控え、人生の折り返し点を迎えた今、そのようなことに日々想いを巡らせております。

ＪＣで過ごした13年という時間は、私の人生に生涯忘れ得ぬ数々の思い出を刻み込んでくれました。ＪＣに入会しなければ『何かに挑戦しなければ何も変わらない』そんなあたりまえのことにも気付かず、仕事と家庭以外のことは何もしない、出来ることしかやらない、そして何の思い出も残らない無為な時間を過ごしていたと思います。

先義後利。辛くても私欲を捨て、誰かのために汗を流して頑張り、最後までやり通せば人生は輝きを増していきます。そのことを学ばせていただいた（社）鳥取青年会議所に、尊敬する先輩、素晴らしい後輩との出会いに、そして愛する家族の支えに心から感謝の意を述べ、卒業の言葉とさせていただきます。今まで本当にありがとうございました。

全国会員大会に参加して

究極の田舎政策委員会
委員 村山 智規

去る、10月16日（金）～18日（日）沖縄那覇「全国会員大会」に参加しました。天気予報では沖縄は雨ということでしたが、大会中はとても良い天気でした。合同ＬＯＭナイトでは釧路ＪＣさんとの姉妹交流もありました。研修会員は自分一人でしたが、優しい先輩方に囲まれてとても有意義な時間を過ごすことができました。

来年は10月1日（金）～3日（日）に箱根・小田原にて全国会員大会が催されます。残念ながら今年は参加できなかった方も、駅伝で有名な箱根の地で卒業生からＪＣのタスキを受け取るという意味でも、来年の全国大会は是非とも参加しましょう。ありがとうございました。

第2回 鳥取ブロック協議会を終えて

青少年育成委員会
三上 博史

去る11月8日（日）に境港のゆめみなとタワーで開催されました第2回鳥取ブロック協議会に出席してまいりました。

今年度私は研修委員会に出向させていただき、2度事業をさせていただきました。当日はその事業報告をさせていただくという大任を委員長より仰せつかり、大変緊張してしまいました。報告をしながらこの一年間で大変多くのことを得ることができたことを実感いたしました。

他ＬＯＭのメンバーと意見をぶつけ合い親睦を深めたことやブロック協議会で5ＬＯＭのメンバーの前に立つなどの経験をさせていただいて出向前と出向後の自分の枠のようなものが広がったように思っています。当初は不安ばかりでしたが、今はやってよかったとはっきりと言えます。今後はこの経験をＬＯＭの運動や会社運営に活かしていきたいと思います。最後に、出向させていただいたことを皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

11月理事会報告

因幡ビジョン特別委員会
委員長 今井 敏明

11月は審議事項が17議案ある内容の充実した理事会でした。審議せず12月に持ち越された議案も数点有り、理事としての責任を再認識しました。青年会議所の理事会で一番重要なのは、妥協しないことです。次は最後の理事会になりますが、みんなが納得のいく理事会で終わりたいものです。

青雀会・じゃがいも会 合同打ち上げのご案内

みなさんお待ちかね！恒例の「青雀会・じゃがいも会合同打ち上げ」を今年も開催いたします！！

日 程 12月3日（木）
場 所 cafe SOURCE
時 間 19：00スタート

☆皆さんに楽しんでいただくため、幹事一同心をこめた内容を企画しております！多くのメンバーのご参加をおまちしています！！

【青雀会】

10月27日、とりきり戦をかけた本年度最後の青雀会が開催されました。そして優勝されたのは濱崎大輔君でした！おめでとうございます。

麻雀を知らない幹事団でしたが多くのメンバーのご協力の下、何とか1年間無事に運営することができました。幹事一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【じゃがいも会】

11月1日、旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部湖山コースにて第4回じゃがいも会が開催されました。あいにくの雨天でしたが、27人の参加と猪口マネージャーにも同行いただきました。

優勝はじゃがいも&ゴルフもプレイと言う澤田君でした。グロス133、ハンデ48でネット85と、自己ベストの荒田委員長と1点差での優勝でした。

今年4回に渡ってじゃがいも会を開催させていただきました。多くの方に参加していただき、また新入会員の皆様も積極的に参加していただき、活発なじゃがいも会だったと思っています。本当にありがとうございました。

●今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL http://torijc.main.jp

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷：(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL：0857-24-1638
発行日：2009年11月18日

Tottori JC 50th

⇒利を後にす」と訓読する。商売は儲ければいい、というものではない。まず物事の道理、筋道を優先し、利害損得はそのあとについてくるもの。

IJU! IN TOTTORI ～選ばれるまち 鳥取に向けたフォーラム～

IJU!IN TOTTORI ～選ばれるまち 鳥取に向けたフォーラム～ 終えて

究極の田舎政策委員会
委員長　荒田　潤之介

去る10月24日（土）、鳥取環境大学にて、とっとり暮らし研究会、鳥取県、そして鳥取青年会議所の共催でIJU!IN TOTTORI～選ばれるまち鳥取に向けたフォーラム～を開催することが出来ました。このフォーラムは、人口減少時代を迎え、地域の活力を維持し、活性化していくためには、交流人口・移住定住人口増加への取組みが必要であることを県民の皆様に知って頂くための啓発活動を目的としたものです。

当日、メンバーの皆様、そして最後の最後まで動員を行った当委員会メンバーのご協力のお陰もあり、400人以上の来場者にお越し下さいました。

第一部では、元ギャル社長の藤田志穂さんをお招きし、彼女のアイデア力と実行力から大きな気付きを得て頂きました。第二部基調提案では、とっとり暮らし研究会の報告と提案をさせて頂き、第3部パネルディスカッションでは、平井鳥取県知事をお呼びして、鳥取総研の倉持様をコーディネータに青谷へ移住してこられた島内様、学生人材バンク田中玄洋様、そして水野理事長の4名で熱い議論をしていただく事で、この活動の必要性を改めて確認させていただきました。

今回、本当にメンバーの皆様一人ひとりのご協力が、この事業への成功へと導いて下さいました。また、当委員会は、本当に心強く、素晴らしいメンバーばかりでした。心から感謝と敬意を顕せていただきます。本当にありがとうございました。

フォーラムに参加して

究極の田舎政策委員会
委員　田中　玄洋

開催までの準備では、荒田委員長をはじめとして委員会メンバーで一致団結して取り組めたと考えております。12時過ぎて終わった委員会もいい思い出です。委員会メンバーの専門や経験が生かせた形で田舎チームが動いていたと思います。当日は壇上にあがらせていただき、パネルディスカッションで話をさせていただきました。コーディネーターの倉持さんの提案で、台本なしでどんどんやりとりする形式だったので、発言の内容・タイミングなど非常に神経をつかう時間でした。おかげさまで、パネルディスカッションが一番興味深かったなどの感想もいただけたので、やりがいがありました。

次の動きにつながる会に今後も田舎をテーマに動ければと思っています。

鳥取JCしいたけの森プロジェクト 第3弾 森の恵み！もぎたてしいたけ de 収穫祭の巻

『第3弾　森の恵み！もぎたてしいたけ　de　収穫祭の巻』

因幡のグリーン政策委員会
委員長　野田　祐二

4月よりスタートした「鳥取JCしいたけの森プロジェクト」もいよいよ本年度の最終回を迎えました。ここに至るまで多くの困難がありましたが委員会メンバーと共に乗り越えてきました。浸水後に発生はしたもののなかなか大きくならないしいたけが心配で菌蕈研究所に飛んで行き事情を説明するも「大丈夫、まだまだ大きくなります」と笑われ、また事業前日も天気が心配でとても不安でしたがメンバーから「そんなに心配しなくても大丈夫、大丈夫」と笑いながら支えられ、そして事業当日、暑くも寒くも無い秋の空の下130人を超える多くの参加者の皆さんや、本年事業に協力して頂いた大学・研究機関・行政・生産者の方々と共に事業開催を迎えることが出来ました。本年は4月の開園前の作業から収穫祭に至るまで多くのメンバーの皆さまにご協力頂きありがとうございました。

そして現在、本年度の事業は終わりましたが、このプロジェクトはまだ終わりではありません。次年度へ向けしっかりと引継ぎを行い、環境と経済の好循環するまちを目指していかなければなりません。皆様今後ともよろしくお願いします。

鳥取JCしいたけの森プロジェクト 第三弾　収穫祭を終えて

因幡のグリーン政策委員会
委員　宮脇　洋行

第三弾という事もあり、参加者の方々、子供達との距離もぐっと近く感じましたし、外部協力者との連携も事業を重ねるごとにしっかりと深まっていった様に感じました。

今回の事業も子供達の目が生き生きと輝いていました。そして日本の森林生態系の中で森林資源を循環利用しながら永続できる環境保全型の有機的栽培により作られた原木しいたけの美味しさに多くの参加者やご協力いただいたメンバーから驚きの声を沢山聞きました。私自身こんなにも原木しいたけがこれほどまで美味しいとは知りませんでした。

またこの事業は原木しいたけを広く発信する事で環境と経済の好循環するまちが広がっていく、とてもやりがいのある事業であると感じました。

最後になりましたが、入会一年目に充実した事業が三度も経験できた事を嬉しく思うとともに、素晴らしい委員会メンバーをはじめご協力頂きました全てのメンバーに感謝致します。ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます

卒業にあたって

松島　英樹

1997年後期に入会し、本年卒業となります。

県外から鳥取に帰りJCという組織も知らずに入会した時は、活発な活動はしてなかったと思いますが、今思えば時間が経つにつれJCの良さがわかり始め、先輩・仲間と活動をし、はまっていきました。

長いようであっという間の12年半でしたが、何より多くの人と出会えた事が私にとってはこれからの人生の財産になりました。色々言いたい事はたくさん有りすぎて文章では言い表せませんが皆様お許しください。

最後に楽しく、厳しく、考える力を与えてくれて成長させてくれたJCの先輩、メンバーの皆様に感謝申しあげます。

松島英樹君【経　歴】

1997年　入会
　　第一事業委員会　委員
1998年　総務委員会　委員
1999年　会員開発委員会　委員
2000年　第一事業委員会　副委員長
2001年　会員交流委員会　委員長
2002年　第二事業委員会　委員長
2003年　副理事長
2004年　特別委員会　委員
2005年　まちの輪創造委員会　委員
　　日本青年会議所
　　地域力創造会議　委員
2006年　ふるさと活性化委員会
　　委員
2007年　地域間交流委員会　委員
2008年　心豊かなまち推進委員会
　　委員
　　組織力向上特別委員会
　　委員
2009年　因幡ビジョン特別委員会
　　委員
　　究極の田舎政策委員会
　　委員

卒業にあたって

保木本　秀行

H8年に鳥取に帰り直ぐ、何も分らずJCに入会させて頂きまして、気がつけば、早くも卒業の年となっておりました。

私は、入会の目的は特になく…。私は、本当に何も分らず研修会員で先輩方に言われる通り色々な研修を受けさせて頂き今までにない人生経験をさせて頂きました。

私は、委員長経験が1度しかありませんが、その時は委員会メンバーに助けられ無事事業を終えることができたことを良い思いでとして覚えております。

昔のJCは、少なくとも仕事の繋がりというのではなく、本当に若い時からの先輩後輩としての意識が強く、何も考えずに活動が出来ていたのではと思います。

そんな先輩方もどんどん卒業され、若いメンバーが入会し新しいJCになっていくんだなあと日々感じ、影ながら応援させて頂きたいと思います。

JCは40歳までですが、会社の中での役割も年々変わり、活動が出来る環境が年々変わっていくこともJC活動の難しさでもあると思いました。

ただ、その時にしか経験出来ないことが、たくさんあるので、皆様もよきJCライフを過ごしてください。

今思えば、長かったような短かったような…。辛かったような楽しかったような…。いろいろな仕事（活動）での経験をだぶらせながら今後の糧としてがんばっていきたいと思います。

最後になりましたが、メンバーの皆様には大変お世話になり本当にありがとうございました。

保木本本秀行君【経　歴】

1998年　入会
　　第一政策委員会　委員
1999年　第二政策委員会　委員
2000年　総務委員会　委員
2001年　広報委員会　副委員長
2002年　第三政策委員会　委員
2003年　会員交流委員会　委員
2004年　青少年育成委員会　委員
　　45周年実行特別委員会
　　委員
2005年　地域経済活性化委員会
　　委員
　　鳥取ブロック協議会
　　総務会員委員会　委員
2006年　ふるさと活性化委員会
　　委員
2007年　福祉委員会　委員長
2008年　広報・渉外委員会　委員
　　50周年準備特別委員会
　　委員
2009年　青少年育成委員会　委員

松本寿一君【経　歴】

1997年　入会
　　第二事業委員会　委員
1998年　第一政策委員会　委員
　　中国地区協議会
　　地域ビジョン創造委員会
　　委員
1999年　第三事業委員会　副委員長
2000年　広報委員会　委員長
2001年　第二政策委員会　委員
2002年　特別委員会　副委員長
2003年　会員交流委員会　委員
　　鳥取ブロック協議会
　　運営専務
2004年　特別委員会　委員
2005年　人間力開発委員会　委員
　　因幡こどもまつり実行
　　特別委員会　副委員長
2006年　LOM進化特別委員会
　　委員
2007年　会員交流委員会　委員
2008年　財務担当補佐
　　監事
　　地域間交流推進委員会
　　委員
2009年　監事
　　鳥取ブロック協議会　監事
　　青少年育成委員会　委員